

# 進路だより

令和8年1月26日(月)  
東京都立矢口特別支援学校長  
阿出川 千賀子  
<第5号>進路指導部

新しい年を迎えました。3学期は次年度につながる大切な時期です。安心して次の一步を踏み出せるよう引き続き御家庭と学校で連携しながら日々の生活に必要な力を育てていきたいと思ひます。

本号では、小学部6年生のインターンシップ、中学部2年生のインターンシップ、中学部3年生の清掃検定の様子をお伝えいたします。

## ■小学部6年生インターンシップ

中学部での生活に見通しをもつため、作業学習や職業など中学部から始まる授業に参加するインターンシップに臨みました。

授業の最初には語前後礼を意識したあいさつ7つの言葉の練習を行い、牛乳パックを使った紙工の作業では、はさみで切る、フィルムをはがす、細かくちぎるなどの活動を体験しました。作業室に初めて入り、先輩と共に作業を行った経験は、適度な緊張感の中で熱心に取り組む姿が見られ、中学部進学への意識を高める有意義な機会となりました。

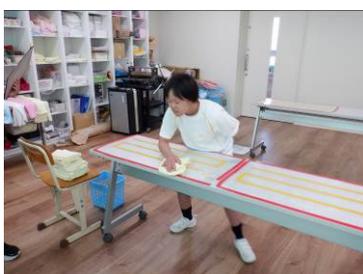
## ■中学部2年生インターンシップ

11月13日(木)に、スクイージーを使った窓清掃をクラスごとに校内1階、3階、4階で行いました。日頃過ごしている学校に感謝を込めて一生懸命清掃をすることができました。清掃中、様々な先生から感謝の言葉を掛けていただきました。今回のインターンシップは、働くことの喜びを知り、将来への見通しをもつことにもつなげることができたと思ひます。



## ■中学部3年生清掃検定

9月26日(金)にテーブル拭きの清掃検定を実施しました。検定当日は緊張した様子も見られましたが、3年生らしく堂々と真剣な表情や態度で検定に臨むことができました。テーブル拭きの3年間の集大成として、日頃から積み重ねてきたことや、クラス内でたくさん練習を重ねた成果を発揮することができました。



## ■保護者向け進路講演会

11月21日（金）に本校保護者向けの進路講演会を行いました。社会福祉法人大田幸陽会より、さわやかワークセンター所長、大田区立大森東福祉園施設長、障害者生活ホームホーム長、グループホーム整備担当課長の皆様に講師を招き、『『高等部卒業後の進路・生活について』～その人らしさを実現するために～』というテーマで高等部卒業後の進路についてお話をいただきました。

今から取り組めることとして、

- ①生活リズムを整えること
- ②報告・連絡・相談ができること
- ③困ったときに助けを求められることができること

が大切であるというお話をいただきました。

どの施設の方もおっしゃっていたのが、利用者さんの理解をしていくということでした。地域清掃や製品作りなど様々な活動、生活をするにおいて、利用者さん個々に合わせた支援を行いながら同じ活動に取り組むことができるようにするという事は、利用者さんの過ごしやすさに直結してくるということを知ることができました。

また、障害の有無に関わらず、一人の地域住民、一人の大人、子供として接するようにすることの大切さも知ることができました。

今回の講演を通して、進路先の様子や雰囲気を具体的に知ることができ、今後の進路や生活に関してイメージをもつことができる良い機会となりました。

保護者の皆様、お忙しいところ御参加いただき誠にありがとうございました。

